

加東市 内水ハザードマップ

保存版

内水ハザードマップとは

大雨時に下水道や水路などから浸水が想定される区域や浸水する深さなどの情報をまとめたマップです。自宅などの浸水リスクや浸水時の行動についてあらかじめ確認し、日頃から内水による浸水に備えましょう。

立ち退き避難は 浸水が始まる前、明るい間に!



夜間や浸水したときの避難は危険!



加東市で起きた水害

県内で発生する風水害としては、停滯前線による豪雨、雷雲の発達等による大雨、台風による風水害などがあり、近年市で起きた災害は平成30年7月豪雨（西日本豪雨）などがあり、7月5日から8日にわたり梅雨前線が停滞し、大雨が連日続いたことで、避難指示（緊急）を発令し、指定避難所13施設（自主避難所3施設含む）を開設し、123世帯、221人が避難しました。

加東市 〒673-1493 兵庫県加東市社50番地 電話:0795-42-3301 (代表)

2026年●月作成

わが家の防災メモ

緊急時の連絡先 いざというときのために家族や近所の人の連絡先を記入しましょう

氏名・名称	電話番号(携帯電話)	備考

私(家族)の避難先 2階以上の建物に避難できる知人宅など、連絡先を記入しましょう

避難先	住所	電話番号(携帯電話)

災害用伝言ダイヤル 171

伝言の録音方法

- 「171」をダイヤル
- 「1」を押す
- 被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤル
- 伝言を録音する

伝言の再生方法

- 「171」をダイヤル
- 「2」を押す
- 被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤル
- 伝言を再生する

体験利用日 毎月1日・15日、正月三日日、および防災週間、防災とボランティア週間にダイヤルすると体験利用ができます。

知っとく 他のハザードマップ

市で作成している他のハザードマップも確認しておきましょう。各マップは、市のホームページよりダウンロードできます。

風水害ハザードマップ



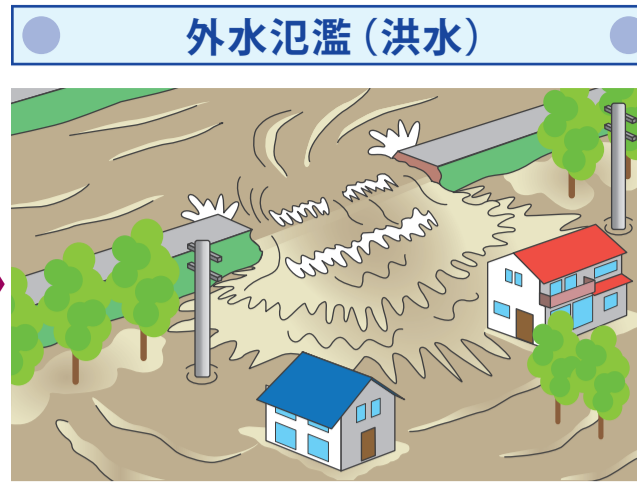
ため池ハザードマップ



内水氾濫と洪水(外水氾濫)



下水道施設や水路などの排水能力を上回る大雨により、河川の水位が高くなり下水道幹線から河川に排水できず、水路やマンホール、雨水ますなどからあふれて起こる現象です。



大雨によって河川の水位が高くなった時、堤防を越えて水があふれたり、決壊し川の外に流れ出す現象です。

更に強い雨が降ると...

内水氾濫で想定される災害

床下浸水



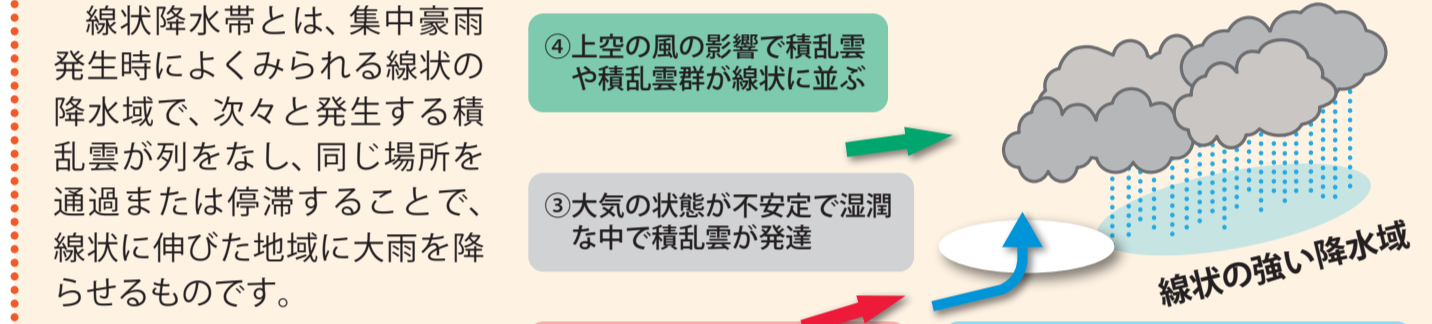
家屋の被害では、床下浸水・床上浸水が起こり、流れ込んでくる水は泥水で、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積します。

床上浸水



知っとく 線状降水帯

線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



線状降水帯とは、集中豪雨発生時によくみられる線状の降水域で、次々と発生する積乱雲が列をなし、同じ場所を通過または停滞することで、線状に伸びた地域に大雨を降らせるものです。

避難の種類

「避難」とは「難」を「避ける」こと、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。普段からどう行動するか決めておきましょう。

市が指定した避難場所への立ち退き避難

安全な親戚・知人宅・ホテル等への立ち退き避難

普段から災害時の避難について相談しておきましょう。

屋内安全確保

ハザードマップで自宅にいても安全かどうかを確認することが必要です。

浸水継続時間が長い地域では、立ち退き避難を行わなかった場合、ライフラインが断たれることなどにより避難生活が困難となるおそれがあります。

避難の心得

正確な情報の入手

テレビ・ラジオで最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

動きやすい服装での避難を

避難するときは、動きやすい服装で2人以上での避難をこころがけましょう。

要配慮者への協力

お年寄りや子供などは早めの避難が必要です。近所のお年寄りが避難する場合には、協力しましょう。

徒歩での避難が基本

車での移動は緊急車両の通行の妨げになります。また浸水すると車が動けなくなりますので、特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

安全な避難路を選ぶ

避難はできるだけ高い道路を選び、水路などには十分注意しましょう。また夜間の避難は周りの状況を確認しにくく、非常に危険です。暗くなる前に避難しましょう。

万が一、逃げ遅れたときは「垂直避難」

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの頑丈な建物の2階以上に逃げましょう。

5段階の警戒レベルを用いた防災情報

警戒レベル	避難情報	警戒レベルに相当する気象庁等の情報				住民がとるべき行動
		大雨	土砂災害	河川氾濫	キキクル	
5	緊急安全確保	大雨特別警報	土砂災害特別警報	氾濫特別警報	災害切迫	命の危険 直ちに安全確保!
〜〜〜(警戒レベル4までに必ず避難!)						
4	避難指示	大雨危険警報	土砂災害危険警報	氾濫危険警報	危険	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	大雨警報	土砂災害警報	氾濫警報	警戒	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	-	大雨注意報	土砂災害注意報	氾濫注意報	注意	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	-	早期注意情報			-	災害への心構えを高める

キキクル(危険度分布)

キキクル(危険度分布)とは、大雨による災害発生の危険度の高まりをどこで、どのレベルで追っているかを5段階で色分けして地図上で確認できる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

浸水害の危険度

- 高: 重大な災害がすでに発生している可能性が高い
- 危険: 重大な災害が数時間以内に発生するおそれ
- 警戒
- 注意
- 低: 今後の情報等に留意

知っとく 雨の強さと降り方

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の様子	1時間に10～20mmの雨	1時間に20～30mmの雨	1時間に30～50mmの雨	1時間に50～80mmの雨	1時間に80mm以上の雨
屋外の様子	・サーズと降る ・跳ね返り足元がぬれる	・どしゃ降り ・傘をさしていてもぬれる	・バケツをひっくり返したように降る ・傘をさしていてもぬれる	・滝のように降る(ゴーゴーと降り続く) ・傘は全く役に立たなくなる	・息苦しくなるような圧迫感がある ・恐怖を感じる
屋外の様子	・地面一面に水たまりができる		・道路が川のようになる	・水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	

水害に備える1

自宅の周りを点検

- ベランダ
- 雨どい・雨戸
- ブロック塀
- 屋根
- 外壁
- 窓ガラス
- 側溝

家庭でできる浸水対策

ごみ収集袋(45リットル)を二重にし、中に半分くらい水を入れ、水のうを作ります。

水のうと長めの板などを組み合わせて、浸水を防ぎます。

水のうは段ボール箱に詰めることで、強度が増します。

ブルーシートをならべ、ブルーシートで包み浸水を防ぎます。

側溝や雨水ますは、ごみや落ち葉等が詰まると水が流れにくくなるので清掃しましょう。

豪雨時は、下水が逆流し、トイレやお風呂場、洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。

水をいれたビニール袋をおいておく排水溝から逆流してくる泥水を防ぎます。

風呂の貯水は、下水の逆流防止、生活用水(飲用以外)としての利用などの利点があります。

加東市災害タイムライン(防災行動計画)

市民の皆さんに、災害の発生前から迅速・確実に対応いただくために、「加東市災害タイムライン(防災行動計画)」を土砂災害編と洪水・浸水編の2種類作成しています。

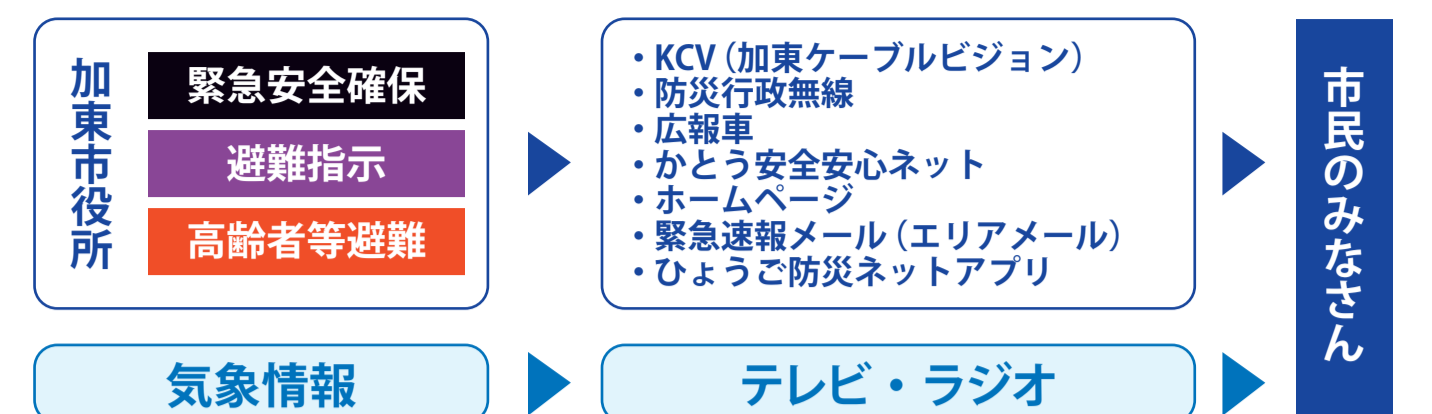
市のホームページよりダウンロードできます。

タイムラインは災害の発生を前提に、起こりうる状況を想定し、「いつ」「誰が」「何を」を整理した防災行動計画です。災害時の避難行動の目安としてご利用ください。



避難情報等の伝達経路

避難情報等は下図のような経路で伝達されます。



防災情報の収集

風水害は、最新の気象情報などを入手することで、時期や規模を予想することができます。テレビやラジオの放送に注意し、近所の人々と連絡を取りましょう。

かとう安全安心ネット

「かとう安全安心ネット」に携帯電話のメールアドレスを登録しておく、災害時の警戒レベル3高齢者等避難、警戒レベル4避難指示、警戒レベル5緊急安全確保などの緊急情報や、気象情報などが自動的にメール配信され、すばやく情報入手することができます。

気象・災害・避難情報などの情報をメールでお知らせします。

※登録料・情報料は無料です。

- かとう安全安心ネットにアクセス。
※右記のQRコードからアクセスできます。
- 表示されるページ下部の「かんたん登録はこちら」を選択してください。
- メール送信画面が開きますので、そのままメールを送信してください。
- 返信されるメールの「利用規約に同意して登録する」部分に書かれているURLへアクセスしたら、登録完了です。

加東市ホームページ

災害時は避難所情報などを掲載します。



加東市防災気象情報

加東市を対象に発表されている防災気象情報、これからの天気予報なども掲載しています。



加東市 Facebook

災害時は市の Facebook で防災情報を掲載します。



その他防災情報について

- 防災行政無線
防災行政無線の個別受信機の設置を希望される方は防災課にお問合せください。
- 加東ケーブルビジョン(文字放送、テロップ)
- 緊急速報(緊急速報メール、エリアメールなど)
通信事業者によって、呼称が異なります。契約している通信事業者や使用している機種によっては、対応していない場合があります。

水害に備える2

非常持出品

避難が必要になった場合に備えて、非常持出品を準備しましょう。リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておくとうれいでしょう。

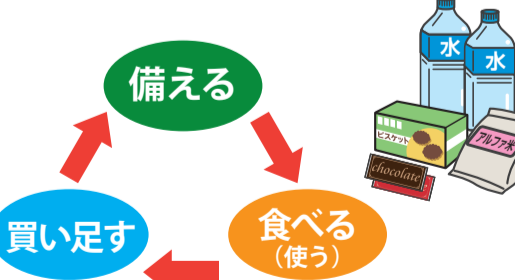
食品・水	救急・安全関係	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル程度) <input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー・缶詰など 火を通さなくても食べられる物	<input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> 救急医薬品(ばんそうこう・傷薬・包帯) <input type="checkbox"/> 病人やお年寄りの常備薬 <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 権利証書 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード

日頃から最低3日分、できれば7日分の食料と飲料水を、非常持出品として常備しておきましょう。

日用品	衣類など	その他
<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手	<input type="checkbox"/> 洗面用具(歯ブラシ・石けん) <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ

備蓄はローリングストックで

食料品の備蓄には「ローリングストック法」が有効です。ローリングストック法とは、定期的(1か月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法です。食べながら備蓄するために消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱うことができます。消費期限を考えながら計画的に消費した分は新たに購入するようにしましょう。



自主防災訓練に参加しましょう

大規模災害が発生した際には、防災関係機関の対応(公助)だけでは限界があります。被害を最小限に食い止めるためには、一人ひとりが防災の重要性について認識し、自分の身を自分で守る(自助)とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まり、互いに協力し合いつながりながら防災活動に取り組むこと(共助)が大切です。いざという時のために自主防災訓練に参加しましょう。

